

交換・派遣留学帰国報告書

学部・学科

国際学部・国際学科

留学先国名

ドイツ

留学先都市

ラーベンスブルク

留学先大学

DHBW大学ラーベンスブルク

留学先所属学部

国際ビジネス

留学期間（〇年〇月～〇年〇月）

2022年10月～2023年3月

学年（出発時）

3年

帰国報告書提出日

YYYY MM DD

2023 / 04 / 11

1.留学先大学について

(1) 留学先大学の特長

セメスターが4つあり、一つ一つが短くなっている。その理由として学生は勉強と同時並行で企業にインターンのような形で働いているので、毎セメスター交互に勉強とインターンを行っている。

(2) 留学先大学のサポートについて

語学面でのサポート

特になし

勉強面でのサポート

特になし

精神面でのサポート

特になし

生活・住居面でのサポート

現地大学にインターナショナルオフィスがあり、寮の提供や問題が発生した場合に対応してくれる。

2.生活環境等について

(1) 住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。

寮はとても古く、また壁が薄いため普通に話しているだけで隣のルームメイトに声が聞こえる、また聞こえてくる。ルームメイトに関しては必ず同性ではなく、まれに異性のルームメイトになることがある。私が留学していた際の第2セメスターでは一つの部屋でそれが起こっていた。

(2) パソコンについて
PC の保有状況

- ☒ 日本から持参した
- ☐ 現地で購入した
- ☐ 保有しなかった

Wi-Fi の有無

- ☒ 有
- ☐ 無

住居内でインターネットに接続していた場合、プロバイダー、料金等について記入してください。

寮側から提供され、家賃に含まれている。またとてもつながりにくく、接続が不安定。

大学での PC の使用可否

- ☒ 使用できた
- ☐ 使用できなかった

大学で PC を使用していた場合、施設の場所や時間制限等について記入してください。

大学内にPC教室があったが、利用しなかったのわからない。

(3) 医療について

Health center（大学内施設として）の有無

☐ 有

☒ 無

留学中に病院で受診したことがありますか。健康管理、衛生面について特に注意すべき ことを記入してください。

はい。基本的に対応が早くないので健康管理は自身で気を付けてすべき。またルームメイトによって寮での衛生面を管理することが難しい場合があるため、積極的にコミュニケーションをとるべき。

(4) 銀行口座について 留学先で口座を開設しましたか。どのように準備・手続きをしましたか。

はい。オンライン銀行で閉鎖口座を出発前に開設し、渡航後ビザを取得してから手続きを進めた。

(5) 異文化体験について 留学先の文化や習慣の違い等について記入してください。

ステレオタイプとしてドイツ人は時間に厳しいと言われているが、半分正解で半分誤りだと思う。授業や勤務時間については厳しいが、バスや電車などは時間にルースで大抵遅れが生じている。またドイツ人は食生活にあまり興味がなく、簡単な食事で済ませることが多い。

ボランティア等、課外活動を行いましたか。

行っていない。

留学先の安全性や外国人への態度等、留意していたことがあれば記入してください。

ラーベンスブルクは人口が少ないが多国籍な人々が多く生活していて安全である。ドイツ人は自分が間違っているとしても誤らない人が多いので、特に手続等は相手に不満があっても辛抱強く進めていく必要がある。

3.後輩へのアドバイスについて

(1) 現地で参考となった留学先国の情報（HP や出版物等）を記入してください。

<https://www.ravensburg.dhbw.de/startseite>（大学HP）

(2) 日本から持参すると良いと思われるものを記入してください。

スーツ、カイロ、医薬品。

3月まで留学をする人は就活が始まる時期と重複するため、面接やインターン等で着用する必要がある際に役立つ。シャツ、ネクタイ、ジャケットだけでも持参するとよい。

どれだけ暖かい服装をしても手足の先の寒さだけは完全に防ぐことが出来なかったもので、カイロを持参して温めるとよい。

少し体調が悪くなったり、胃が痛くなった場合、私自身病院で診察してもらえなかったもので日本から持参したパブロンやキャベジンで対応していた。

(3) 留学したことによって得られたことについて記入してください。

語学力。トラブルが発生した時の対応力。異文化コミュニケーション力。

また一度海外に出て半年間生活をしたため、精神的に海外に行きやすくなったり、新しいことを始めやすくなった。

語学力：

留学前－資格試験名称および点数（級）

TOEIC935、実用英語技能検定準1級、IELTS6.5

留学後－資格試験名称および点数（級）

受けていない。

（4）留学において最大のトラブルは何でしたか。

留学最初のビザ取得時

初めの1か月はビザ取得の手続きに遅れが何度も生じ、閉鎖口座からお金を引き出せず、まともな生活を送ることに困難が生じた。

（5）授業について：クラスの人数、成績評価、現地学生の取り組み方等

最大20人程度。5段階評価。基本的には真面目に教授の話を聞き、積極的に発言する学生が多い。しかし現地学生の中には興味のない授業まで取る必要がある学生がおり、その学生は授業中話を聞かず他のことをしていた。

（6）留学期間中に就職活動をしましたか。どのように活動したか教えてください。

はい。スーツを持参しオンラインでインターンや企業説明会に参加した。

4.費用について

留学費用の概算を円で記入してください。

（1）留学時のレート

1ユーロ140円前後

（2）航空運賃

往復23万円

(3) 住居費
住居費（月額）

前半3か月 約4万円。後半3か月 約5万円。社会情勢により家賃が上がった。

住居費（留学期間合計）

約30万円

(4) 食費（月額）

約3万円

(5) 保険料

月額1万5千円

(6) その他

生活費、交際費合計 月約5万円

(7) 留学費用の合計

約100万円

5.その他 自由に記入してください。

このフォームは 近畿大学 職員用 (@itp.kindai.ac.jp) 内部で作成されました。

Google フォーム